

高瀬神社 杜報

越中一宮

第17号

平成20年4月1日

越中高瀬神社
一宮

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏

一月の社報にわが国の自然が素晴らしいことを書きました。自然の恵みに感謝しながら、自然と共に存してゆく大きさは、皆よく理解していると思います。しかしながら、一旦、災害や事故が起きたと、大自然が自分の思いのままにならないと言えます。毎日の生活の中では不平不満を言いながら日々を送っています。人と人のつながりは自分を中心の生活設計の中で形成されています。このような歪んだ社会がいつまでも続くとわが国はどうになるのだろうかと心配になります。経済界も社会貢献という使命感を忘れてしまい、個人主義の延長ともいえる、自社利益のみ追求するという醜い姿になってしまいます。儲けがあれば人の命など関係ないようです。先般来、

責任はどうになつてゐるのでしょうか。全く不明瞭だと思います。生産する企業も販売する企業も、輸入品を取り扱う企業も、日本の国民のためにと考えることが第一の条件でありましょう。中国製餃子に関して言えば、経費節減や流通時間短縮のために、事前の検査等、何らかの手段を怠つたのではないかと思います。財界がだめなならば、政界に期待したいところですが、どうでしょうか。国民生活を重視するようなことを言いつつも、実際は党利党略のこと、わが身の保身のことしか考えない議員ばかりだと言つても過言ではありません。世論の味方と自負するマスコミはどうでしょうか。政界財界をはじめ混乱している社会を手玉にとつて、面白おか

「この二つに」

しく報道し、言論の自由や知る
権利などを楯に勝手気儘に放送
しています。あれほど報道して
いた中国製餃子の一件はどうな
つたのでしょうか。最近は見聞
きしませんが…。

物も同じ立場です。自然は人のためだけにあるのではなく、小さな植物や野山の鳥たちも育んでいます。何をやっても何を言つても許されるという今の風潮は決して良い事ではありません。

の間違った教育が大きく影響していると思います。個人の権利や義務について誤った解釈をして、利己主義が蔓延しました。家庭が崩壊し、地域住民の意識がバラになりました。情操教育や宗教教育という、いわば道徳教育が行われない教育現場がもたらした結果であります。

社会が平和で品物が豊富に溢れていることが素晴らしい社会ではないはずです。自分の意見や考えが全てまかり通る社会が平和な社会と言えぬのでないかと思します。他人の意見や考え方の中に、何が正しくて何が間違いなのか判断てきて、それぞれの立場や考え方を尊重できる人たちが暮らす社会を平和な社会と言うのではないでしようか。自然という中では人も他の動植

月日の経つのは早いもので、一月がいつの間にか二月となり、更に三月となつて、春祭りの季節となりました。山野の草木も芽吹きはじめています。

中国からの輸入食料品に農薬が混入されていたとマスコミが騒ぎして報道していました。実際に生命の危険に遭遇した国民がいるのに、日本の輸入会社の

いすれにしても迷惑しているのは国民であることは間違いないありません。國家、国民のことを考えての政治、経済、マスコミであつてほしいと思います。

こんな社会になつた要因は何だろうと考えてみますと、戦後だらうと日本は、必ずしも、

このように自分勝手な考え方をする人たちが改心して、自分以外の人たちのためにも思考や行動ができるようになれば、平和な社会がやってくるかもしれません。

でも鎮めていたいたきたいと大神様に祈念しておりますが、一人の祈りよりも氏子、崇敬者はじめ心ある大勢の方々と心をひとつにして努力することが実現の近道だと思います。一人一人の小さな心がひとつになつて、しだいに大きくなり、広大無辺の力となつて、これが神様に聞き届かれ、大願成就となります。一日も早く、かつての平和で道義的な社会を取り戻したいと願つています。

祭事暦

祈年祭斎行

去る、二月十七日、「祈年祭」が斎行されました。

氏子崇敬者をはじめ、農協関

係者約五十名の参列があり、宮司の祝詞奏上、巫女による御神

樂「浦安の舞」につづき、井波松風会（斎藤博会長）会員により吟詠と詩舞の奉納がありました。

参列者は、玉串を捧げ今年一年の豊作と産業の発展を祈りました。



「九月十日」（菅原道真）
「春」（佐佐木信綱）

奉納曲

鎮火祭斎行

去る三月八日、関係者約二十名の参列のもと鎮火祭が斎行されました。



本殿での祭典につづき、境内特設の斎場に「忌火」が焚かれ、吉岡敏明井波庄川消防署長以下参列者が見守る中、南砺市消防団井波方面団第五分団員が鎮火を行ひ、本年も火災の無きよう祈念いたしました。

本年の奉耕者は吉川順一氏に決定し、去る三月十四日に種糲の清祓式が行われました。

本年の奉耕者は吉川順一氏に決定し、去る三月十四日に種糲の清祓式が行われました。

献穀田のこと

本年も、井波地域中核農業士協議会（片田功会長）により「高瀬神社献穀田」をご奉仕いただきます。

巫女が受講いたしました。

津守神社（大阪市西成区鎮座）宮司今江隆道先生の指導のもと、「鈴扇の舞」「四方拝の舞」「剣の舞」を習得し、四月一日より祭典及び団体参拝時に御神前で奉奏されます。

浪速神楽講習会

去る三月二十四日より二十八日にかけて、白山比咩神社（石川県白山市鎮座）におきまして、浪速神楽講習が開催され、南部



南砺市井波軸屋の水田で耕作、五月中旬に「御

田植祭」九月中旬に「抜穂祭」が斎行される予定となつております。収穫された稻は十一月二十三日の「新嘗祭」で御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮に「初穂米」として奉納されます。

本年奉耕者



吉川順一氏
南砺市井波軸屋在住



奉納曲

奉納曲

平成二十年初詣



近年は穏やかな天候にめぐまれた正月でしたが、本年は年末からの寒波の影響で、積雪のある寒さ厳しい元日を迎えた。二日以降は天候も安定し、約十七万人（昨年二十三万人）の参拝者で三日が日は賑わいました。

四日以降は官公衙・事業所の方々がお参りになり、今年

一年の更なる繁栄を祈願され

十四回文化
財防火デー」
にあわせ、
境内にて防
火避難訓練
が行われま
した。



井波庄川 消防署・南砺市消防団井波方面団の指導のもと、参集殿配膳室からの出火を想定し、職員及び氏子や高瀬神社協力会により通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練を行いました。
緊急事態が発生した際に備え、真剣な面持ちで訓練に臨んでおりました。

ました。

また、本年も関係各位のご協力により、事故もなく初詣期間を終えることができました。

年末の十二月二十三日、「天長節祭」に併せ「初詣巫女認証式」が斎行されました。

防火避難訓練

去る一月二十七日、「第五

大幣の立つ金屏は人寄せず
新年の瀬音奏てる遺跡かな

大獅子のまなこを背なに初句会
賑わいを他所に神殿淑氣満つ

若水のほとばしり出る竜の口
寒禽の光伴い群れ立てり

髪に受く襷しづく吉とせん

御手洗の去年今年なく湧きつづく

一筋の雪踏みである遺跡かな

初宮の巫女ういういし縫の袴

この平和功靈殿に初詣

破魔矢より小さき鈴音生まれきし

亡き母の面影重ね初鏡

三日巫女白衣緋袴馳染みたり

貫えを崇めまつりて筆始

年明くる降り積む雪の散居村

うら若き巫女の挨拶初詣

一月三日、「福野糸瓜句会」（梅島くにを会長）による初詣句会が開催されました。奉納句は以下の通りです。

大幣の立つ金屏は人寄せず
梅島くにを

成瀬 雄達

新年の瀬音奏てる遺跡かな
若土 白羊

富川 敬三

大獅子のまなこを背なに初句会
賑わいを他所に神殿淑氣満つ

若松 章子

若水のほとばしり出る竜の口
寒禽の光伴い群れ立てり

三宅 静枝

髪に受く襷しづく吉とせん

長谷 登世

御手洗の去年今年なく湧きつづく

野原すみ子

一筋の雪踏みである遺跡かな

岡部 吉文

初宮の巫女ういういし縫の袴

竹部 時夫

この平和功靈殿に初詣

新井 正雄

破魔矢より小さき鈴音生まれきし

山下しのぶ

亡き母の面影重ね初鏡

藤井 乃婦

三日巫女白衣緋袴馳染みたり

秋子

貫えを崇めまつりて筆始

森田 桂子

年明くる降り積む雪の散居村

佐々木春子

うら若き巫女の挨拶初詣

桜井 恵子

武田東洋子

社のにきわい

參拜日誌抄(敬稱略)

(平成十九年十二月) (平成二十年一月)

卷二

目

普明会教団福野支部

三

三三三

平成二十年初詣打合せ会

(初詣安全祈願祭)

仲尼

十八日

富山県神道青年会

事務局長 毛奇

獻
穀
田
初
穗
米

卷之三

卷之三

二
—
—

二八

責、壬、又、員、

責任役員 藤井義雄
高瀬区長 傍田文二

破波市消防団庄川方面隊

廣東省立勸業場

南砺市消防団井波方面団

三明市消防局

珠子語

社長 藤井均

卷之三

平成20年4月1日

二月

※一月一～三日の初詣団体参拝につきましては予約参拝をされました。尚方を記載させていただきました。尚誤りがございましたら社務所までお申し付け下さい。

平成二十年

「夏越の大祓」の

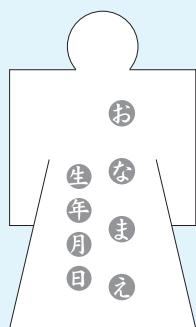
御案内

日時 六月三十日(月)

午後三時より

「大祓」は知らず知らずのうちに犯した罪穢を半年に一度祓い落として元の清らかな心身に戻り、続く半年も健全に過ごせるようにと願う神事です。

拝殿にて斎行、「大祓詞」が奏上され、各人が「人形」に罪穢を移し、特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」をくぐり心身を健康に、これらの暑い夏を乗り切ります。



※ご希望の方には案内状と人形を送付いたしますので、社務所へお問い合わせ下さい。

御案内

人形感謝祭

古くなった日本人形やぬいぐるみに感謝し、お焚き上げする「人形感謝祭」は左記の通り斎行いたします。

・日時 七月二十日(日)

午前十時より

・受付

午前九時より十時まで

※当日のみ受付

・初穂料 社務所へおたずねください。

祭典にあわせ、「人形展」も予定しております。

御祈祷

家内安全・交通安全・初宮詣・厄除・人生儀礼など「御祈祷」

は毎日午前八時三十分より午後四時三十分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、事前に社務所までおたずね下さい。

奉納

○ 「玉串案」「門帳」

砺波市庄川町青島

齊藤 直己 殿

- 「花簪」 南砺市北市 玉井 千里 殿
- 「干支大絵馬」 南砺市山下 森 みちこ 殿
- 「国旗」 富山市婦中町千里 南砺市井波 山本 幸夫 殿
- 「カレンダー」 南砺市高瀬 大和彌寿夫 殿

園児御一同

表紙写真
青空に映える、境内前庭の椿

戌の日(安産祈願)

4月 4日・16日・28日
5月 10日・22日
6月 3日・15日・27日
7月 9日・21日
8月 2日・14日・26日
9月 7日・19日
10月 1日・13日・25日
11月 6日・18日・30日
12月 12日・24日

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。

巫女 玉井 千里
願いにより巫女を免ずる
(平成二十年二月三十一日付)
藤井 友希

見習巫女を命ずる

(平成二十年四月一日付)

玉井千里さんは平成十三年四月より七年間の奉職でした。今後益々のご多幸をお祈りいたします。

訂正

第十六号三頁祭事暦において「祈年穀祭」の斎行日が「六月十一日」とあるのは、「六月十一日」と誤りでしたので訂正いたしました。

編集後記

新年度を迎えた。

殺伐とした世の中で暗いニュースばかりが飛び交う昨今ですが、新入生達の初々しい姿を見かけ、安堵している今日この頃です。子供たちためにも、明るい社会になるよう願わずにはいられません。

辞令

4月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

毎週土・日はブライダル相談会を開催（午前9時～午後4時）

ゴールデンウィークは高瀬神社にGO!

GW 春の4days

結婚準備フェア

午前9時～午後4時

- 結納品展示
- 衣裳展示及び試着
- 御見積相談など

PM2:00～
春のブチ茶会5月3日
(土)4日
(日)6日
(火)5日
(月)

5月3日(土)は
エステサロンの肌診断
(水分量チェック&眉カットサービス)



7月13日(日) 夏のブライダルフェア 開催予定

模擬結婚式及び模擬披露宴

詳細は次回7月発行の社報にて

心づくしの
おもてなしを
いたします

祝 儀 料 理
鮮魚・仕出し **福之屋**
南砺市山見1720
TEL (0763)82-5082(アスモ店)
TEL (0763)82-0706(仕出し部)